道徳科学習指導案

指導者 吉川 祥子

- 1 日 時 平成29年12月1日(金) 3校時(10:30~11:15)
- 2 学年・組 第6学年花組 30名
- 3 主題名 家族の幸せを求めて <内容項目 家族愛・家族生活の充実 C(15)>
- 4 教材名 おばあちゃんの心 (文溪堂)
- 5 ねらい 「私」が家族の無償の愛に気付き家族を敬愛することを通して、家族の幸せを求めて進んで役立とうとする道徳的心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

家庭とは、もっとも身近な社会であり、児童にとっては、生活の場、団らんの場であるとともに、家族から精神的、経済的な保護を受けられる場である。しかし、児童にとってはこのようなことは日常的であり「やってもらってあたりまえ」との思いが強い。また、児童の成長と共に家族間の関係についても変化してきている。そのような時期だからこそ、家族のために何ができるのかを考え、自分の役割を自覚し、積極的に家庭生活に関わることが大切である。

この教材を通して、家族が相互に信頼関係と深い絆で結ばれていることについて考えを深め、家族のありがたさや家庭のぬくもりについて気付かせていきたい。そして、これまで自分が成長できたのは家族の愛情や支援によるものであるということに感謝の気持ちを持ち、家族や周囲の人たちに自分が出来ることを考えながら行動できるようにしたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、最高学年として尊敬される学年になること、当たり前のことをきちんと行うこと、といった目標を目指すことで、少しずつではあるが、登校班やファミリー班などの活動で下学年を引っ張っていかうとする姿が見られるようになってきた。しかし、一方では、自己中心的なところもあり、家庭においても家族の愛情を当たり前のように受け止めるだけで、不満や批判が先行してしまうこともある。また、手伝いはするが、それぞれの立場を理解し合っているというところまでの意識は及んでいない。

そこでこの教材を通して、「おばあちゃん」が家族のために働いているのは、家族に対する愛情であることに気付かせたい。また、家族への感謝の気持ちを持ち、家族の一員として進んで役に立つことをしようとするような道徳的心情を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、忙しい父や体の弱い母に代わって、家族のために働く祖母の姿を通して、家族に対する思いや感謝の気持ちについて考えさせる教材である。

「私」は減量したいという思いから、祖母が入れてくれたあら汁をあげ返してしまう。その時祖母が見せたさびしい顔から、祖母の行動が家族のためだったのだと気付くことになる。

本教材を通して、家族のありがたさや家庭のぬくもりについて気付き、家族の一員としての自覚を育むことで、家族に感謝して卒業式を迎えられるようにしたい。

7 考えを深め合う授業の工夫

- ・道徳ノートを活用し、自分の考えを書くことで、思いを伝えられるようにする。
- ・道徳ノートを活用することで、主人公の気持ちを深く考えさせたり、本時の学習での気付きや思いを振り返らせたりする。
- ・児童の意見に切り返しの発問をすることで、考えを深めさせる。
- ・身近な生活を振り返る中で自分の考えを持たせるようにする。

8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> 家族が自分にしてきていることを考える。 	一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 家族と言えばどんなことを思い浮かぶか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> いつもいてくれる。 大切な存在。 食事の支度。 洗濯。 必要なものの準備。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分にとっての家族について考え、価値への方向付けをする。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> 教材を読む。 	一斉		<ul style="list-style-type: none"> 家族の構成を確認しながら範読する。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵等
	<ul style="list-style-type: none"> あら汁を突っ返した時の「私」の気持ちを考える。 	一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> あらじるをあげ返した時の「私」は、どんな気持ちだったでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> せつかく減量してるのに。 ほしい、って言ってないのに。 余計なことしないでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 黙々と働く祖母の気持ちを理解できない「私」の気持ちに共感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問カード
	<ul style="list-style-type: none"> 祖母に対する心情の変化について考える。 	個別 一斉	<div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> 汁わんの中でぐるぐる回りしている祖母の姿が見えた時、私はどんな気持ちだったでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> やりすぎた。言い過ぎた。 ごめん。 おばあちゃん、嫌な気分になったんだろな。 なんて、自分勝手な行動だったんだ。 私のためを思ってしてくれていたのに。 今までも家族のために働いてくれてたんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 祖母は働くことで家族への思いやりを表現してきたことに気付かせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ◎祖母はどんな気持ちで「年寄りだからそんなに食べねえなあ。」と言ったのでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 働いている時には「年寄り」とは言っていなかったことに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※祖母は働くことで、家族への思いやりを表現してきたことに気付くことができたか。<道徳ノート・発言>
	<ul style="list-style-type: none"> 今も針仕事をしている祖母の姿を見ている「私」の気持ちを考える。 	一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 背を丸めながら針仕事をする祖母を、「私」はどんな気持ちで見いていたのでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> おばあちゃん、ありがとう。 これからは、私も役立とう。 孝行していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 祖母の愛情を当たり前のこととして受け止めていたことの申し訳なさから、自分も家族の一員として役立とうとする感情が生まれたことを押さえる。 	
終末	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りを書き交流する。 読み聞かせを聞く。 	個人 一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 今日の振り返りを書きましょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 絵本「だいじょうぶ だいじょうぶ」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の中で、友だちの意見から、自分に生かせそうなことを考えるきっかけとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ※家族の幸せを求めて進んで役立とうとする気持ちを持つことができたか。<道徳ノート・発言>